

【公開版】

提出年月日	令和元年 11 月 8 日	R7
日本原燃株式会社		

六ヶ所再処理施設における
新規制基準に対する適合性

安全審査 整理資料

第40条：工場等外への放射性物質等
の放出を抑制するための設備

目 次

1 章 基準適合性

1. 概要

2. 設計方針

(1) 大気中への放射性物質等の放出抑制

(2) 海洋，河川，湖沼等への放射性物質の流出抑制

(3) 再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料
火災及び化学火災時に用いる設備

2. 1 多様性，位置的分散

2. 2 悪影響防止

2. 3 容量等

2. 4 環境条件等

2. 5 操作性の確保

3. 主要設備及び仕様

4. 試験検査

表 1 工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための主要設備及び仕様

図 1 各建屋から大気中へ放射性物質等の放出抑制に用いる設備の系統概要
図

図 2 航空機燃料火災及び化学火災への泡消火の系統概要図

2 章 補足説明資料

1 章 基準適合性

1. 概要

重大事故等が発生した場合において、工場等外への放射性物質及び放射線の放出を可能な限り抑制するために必要な重大事故等対処設備を保管する。

工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備の系統概要図を図1及び図2に示す。

- ・可搬型放水砲の、必要台数について検討中
- ・セル冠水の対処の記載を検討中・「臨界安全に対する配慮」について、具体的な対処の記載を検討中
上記により、本項目は今後の検討結果等により変更となる可能性がある。

2. 設計方針 検討中

工場等外への放射性物質の放出を抑制するための設備のうち、前処理建屋の臨界事故の拡大防止、冷却機能の喪失による蒸発乾固、放射線分解により発生する水素による爆発への対処、分離建屋の臨界事故の拡大防止、冷却機能の喪失による蒸発乾固、放射線分解により発生する水素による爆発、有機溶媒等による火災又は爆発への対処、精製建屋の臨界事故の拡大防止、冷却機能の喪失による蒸発乾固、放射線分解により発生する水素による爆発、有機溶媒等による火災又は爆発への対処、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の冷却機能の喪失による蒸発乾固、放射線分解により発生する水素による爆発への対処並びに高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却機能の喪失による蒸発乾固、放射線分解により発生する水素による爆発への対処が発生した場合において、通常の放出経路が確保されない状態で放射性物質の放出（地上放散）に至るおそれがあり建屋への放水により放射性物質の放出抑制を行う場合に必要な設備として、第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型放水砲、ホース展張車、運搬車、ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを設ける。また、建屋への放水を行うにあたり工場等外への放射線の放出を抑制するための手順を整備する。

工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備のうち、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の使用済燃料貯蔵槽の冷却等への対処が発生し、燃料貯蔵プール等の水位が維持できない場合に、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えい発生時に用いる設備への水の供給又は使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への放水若しくは使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への注水を行うために必要な設備として、第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型放水砲、ホース展張車、運搬車、ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを設ける。また、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えい発生時に用いる設備への水

の供給又は使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への放水若しくは使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への注水を行うにあたり工場等外への放射線の放出を抑制するための手順を整備する。

工場等外への放射性物質の放出を抑制するための設備のうち、建屋に放水した水が再処理施設の敷地内にある沢を通じて再処理施設の敷地に隣接する尾駁沼から海洋への放射性物質の放出を抑制するために必要な設備として、可搬型濁水拡散防止フェンス、小型船舶及び運搬車並びに中型移送ポンプ運搬車又はホース展張車を設ける。また、再処理施設の敷地内にある沢を通じて再処理施設の敷地に隣接する尾駁沼へ放射性物質が流出することを抑制するための手順を整備する。

再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災及び化学火災に対応できる設備として、第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型放水砲、ホース展張車、運搬車、ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを設ける。

工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備は、再処理施設で同時に発生するおそれがある重大事故等及び同時に発生するおそれがあるMOX燃料加工施設の重大事故等に対処するため共用できる設計とする。

検討中

・ 共用に係る全体方針を踏まえて見直し予定

(1) 大気中への放射性物質等の放出抑制

前処理建屋の臨界事故の拡大防止，冷却機能の喪失による蒸発乾固，放射線分解により発生する水素による爆発への対処，分離建屋の臨界事故の拡大防止，冷却機能の喪失による蒸発乾固，放射線分解により発生する水素による爆発，有機溶媒等による火災又は爆発への対処，精製建屋の臨界事故の拡大防止，冷却機能の喪失による蒸発乾固，放射線分解により発生する水素による爆発，有機溶媒等による火災又は爆発への対処，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の冷却機能の喪失による蒸発乾固，放射線分解により発生する水素による爆発への対処並びに高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却機能の喪失による蒸発乾固，放射線分解により発生する水素による爆発への対処が発生した場合において，通常の放出経路が確保されない状態で放射性物質の放出（地上放散）に至るおそれがあり建屋への放水により放射性物質の放出抑制を行う場合に必要な重大事故等対処設備として，常設重大事故等対処設備の第1貯水槽及び第2貯水槽並びに可搬型重大事故等対処設備の大型移送ポンプ車，可搬型放水砲，ホース展張車，運搬車，ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを使用する。

使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の使用済燃料貯蔵槽の冷却等への対処が発生した場合において，燃料貯蔵プール等の水位が維持できない場合に，燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えい発生時に用いる設備への水の供給又は使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への放水若しくは使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への注水を行うために必要な設備として，常設重大事故等対処設備の第1貯水槽及び第2貯水槽並びに可搬型重大事故等対処設備の大型移送ポンプ車，可搬型放水砲，ホース展張車，運搬車，ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを使用する。

また、可搬型放水砲からの再処理施設の各建屋へ放水、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えい発生時に用いる設備への水の供給又は可搬型建屋外ホースによる使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への注水を行うにあたり、放射線の放出を抑制するための手順を整備する。

可搬型放水砲は、第1貯水槽又は第2貯水槽の水を可搬型建屋外ホースを経由して、移動等により、複数の方向から再処理施設の各建屋（前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋）に向けて放水できる設計とする。

可搬型放水砲は、重大事故等が発生している再処理施設の各建屋のうち、通常の放出経路が確保されない状態で放射性物質の放出（地上放散）に至るおそれがある建屋に同時に放水できる設計とする。

可搬型放水砲は、ホイールローダを用いて運搬できる設計とする。

再処理施設の精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への放水については、臨界安全に及ぼす影響をあらかじめ考慮して実施する。**検討中**

大型移送ポンプ車、ホース展張車、運搬車及びホイールローダは軽油を燃料として使用する。ホース展張車、運搬車及びホイールローダで使用する軽油は、燃料補給設備の軽油貯蔵タンクの近傍で補給できる設計とする。また、大型移送ポンプ車で使用する軽油は、燃料補給設備の軽油用タンクローリにより移送できる設計とする。

主要な設備は、以下のとおりとする。

- ・ 第1貯水槽
- ・ 第2貯水槽
- ・ 大型移送ポンプ車

- ・可搬型放水砲
- ・ホース展張車
- ・運搬車
- ・ホイール ローダ
- ・可搬型建屋外ホース
- ・軽油貯蔵タンク
- ・軽油用タンク ローリ

(2) 海洋，河川，湖沼等への放射性物質の流出抑制

建屋に放水した水が再処理施設の敷地内にある沢を通じて再処理施設の敷地に隣接する尾駁沼から海洋への放射性物質の放出を抑制するために必要な設備として，可搬型重大事故等対処設備の可搬型汚濁水拡散防止フェンス，小型船舶及び運搬車並びに中型移送ポンプ運搬車又はホース展張車を使用する。また，再処理施設の敷地内にある沢を通じて再処理施設の敷地に隣接する尾駁沼へ放射性物質が流出することを抑制するための手順を整備する。

可搬型汚濁水防止フェンスは，建屋放水により生じた水が再処理施設の敷地に隣接する尾駁沼から海洋に流出することを抑制するために，尾駁沼の設置場所に応じた高さ及び幅を有する設計とする。

可搬型汚濁水防止フェンスは，中型移送ポンプ運搬車又はホース展張車を用いて運搬できる設計とする。

中型移送ポンプ運搬車，ホース展張車及び運搬車は軽油を燃料として使用する。中型移送ポンプ運搬車，ホース展張車及び運搬車で使用する軽油は，燃料補給設備の軽油貯蔵タンクの近傍で補給できる設計とする。

主要な設備は，以下のとおりとする。

- ・可搬型汚濁水拡散防止フェンス
- ・小型船舶
- ・中型移送ポンプ運搬車
- ・ホース展張車
- ・運搬車
- ・軽油貯蔵タンク

(3) 再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災及び化学火災時に用いる設備

再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災及び化学火災に対応するための重大事故等対処設備として、常設重大事故等対処設備の第1貯水槽及び第2貯水槽並びに可搬型重大事故等対処設備の大型移送ポンプ車、可搬型放水砲、ホース展張車、運搬車、ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースを使用する。

可搬型放水砲は、第1貯水槽又は第2貯水槽の水を、大型移送ポンプ車を用いて泡消火剤と混合しながら可搬型建屋外ホースを經由して再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災及び化学火災へ対応できる設計とする。

可搬型放水砲は、ホイールローダを用いて運搬できる設計とする。

大型移送ポンプ車、ホース展張車、運搬車及びホイールローダは軽油を燃料として使用する。ホース展張車、運搬車及びホイールローダで使用する軽油は、燃料補給設備の軽油貯蔵タンクの近傍で補給できる設計とする。また、大型移送ポンプ車で使用する軽油は、燃料補給設備の軽油用タンクローリにより移送できる設計とする。

主要な設備は、以下のとおりとする。

- ・ 第1貯水槽
- ・ 第2貯水槽
- ・ 大型移送ポンプ車
- ・ 可搬型放水砲
- ・ ホース展張車
- ・ 運搬車
- ・ ホイールローダ

- ・可搬型建屋外ホース
- ・軽油貯蔵タンク
- ・軽油用タンク ローリ

2. 1 多様性, 位置的分散

第1貯水槽及び第2貯水槽は, その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

軽油貯蔵タンクは, その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

大型移送ポンプ車は, その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)と異なる場所に分散して保管することで, 共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

可搬型放水砲は, その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設

備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

ホース展張車は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

運搬車は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

可搬型建屋外ホースは、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

軽油用タンクローリは、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、屋外の複数の異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

小型船舶は、屋外の複数の異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

中型移送ポンプ運搬車は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と異なる場所に分散して保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

ホイールローダは、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と

異なる場所に分散して保管することで，共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。

2. 2 悪影響防止

第1貯水槽及び第2貯水槽は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）との系統を分離することで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

軽油貯蔵タンクは、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）との系統を分離することで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

大型移送ポンプ車は、通常時は接続先の系統と分離して保管し、重大事故等時に接続、弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

大型移送ポンプ車は、治具や輪留めによる固定等を行うことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

可搬型放水砲は、通常時は接続先の系統と分離して保管し、重大事故等時に接続、弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

可搬型放水砲は、可搬型放水砲の使用を想定する重大事故等時において必要となる屋外の他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

可搬型放水砲は、治具や輪留めによる固定等を行うことで、他の

設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

ホース展張車は、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

運搬車は、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

可搬型建屋外ホースは、通常時は接続先の系統と分離して保管し、重大事故等時に接続、弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

軽油用タンクローリは、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として設置することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

小型船舶は、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

中型移送ポンプ運搬車は、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

ホイールローダは、屋外の複数の異なる場所に分散して保管し、重大事故等時に重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。

2. 3 容量等

第1貯水槽及び第2貯水槽は、想定される重大事故等の対処に必要な容量を有する設計とする。

軽油貯蔵タンクは、想定される重大事故等時において、対処に必要な設備が、事故後7日間で連続運転するのに必要となる燃料を供給できる容量を有する設計とする。

大型移送ポンプ車は、想定される重大事故等時において、大気中への放射性物質等の放出抑制並びに航空機燃料火災及び化学火災への対応に対して必要な容量を有するものを3台使用する。保有数は、第41条：重大事故等への対処に必要な水の供給設備で記載する。

可搬型放水砲は、想定される重大事故等時において、大気中への放射性物質等の放出抑制又は航空機燃料火災及び化学火災への対応に対して、可搬型放水砲により屋上に放水するために必要な容量を有するものを3台使用する。可搬型放水砲の保有数は、3台に加えて、故障時のバックアップとして3台の合計6台を保管する。

ホース展張車は、想定される重大事故等時において、重大事故等への対処に必要な可搬型建屋外ホースを展張できるものを2台使用する。保有数は、2台に加えて故障時バックアップを4台、待機除外時バックアップとして1台の合計7台保管する。

運搬車は、想定される重大事故等時において、重大事故等への対処に必要な可搬型重大事故等対処設備を運搬できるものを3台使用する。保有数は、3台に加えて故障時バックアップを5台、待機除外時バックアップとして1台の合計9台保管する。

可搬型建屋外ホースは、複数ルートを考慮してそれぞれのルートに必要な可搬型建屋外ホースの長さを満足する数量の合計に、故障

時バックアップを考慮した数量を分散して保管する。

軽油用タンクローリは、想定される重大事故等時において、重大事故等への対処に必要な設備に軽油を移送できるものを3台使用する。保管数は、3台に加えて故障時バックアップを5台、待機除外時バックアップを1台の合計9台保管する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、想定される重大事故等時において、海洋への放射性物質の流出を抑制するため、設置場所に応じた高さ及び幅を有する設計とする。保有数は、設置場所に応じた必要な個数として40枚に加えて、故障時のバックアップとして40枚の合計80枚を保管する。

小型船舶は、想定される重大事故等時において、可搬型汚濁水拡散防止フェンスを設置するために尾駁沼において使用できるものを1艘使用する。保有数は、1艘に加えて、故障時バックアップを3艘、待機除外時バックアップを1艘の合計5艘保管する。

中型移送ポンプ運搬車は、想定される重大事故等時において、重大事故等への対処に必要なとなる小型船舶を運搬できるものを2台使用する。保有数は、2台に加えて故障時バックアップを4台、待機除外時バックアップとして1台の合計7台保管する。

ホイールローダは、想定される重大事故等時において、重大事故等への対処に必要なとなる可搬型放水砲を牽引できるものを3台使用する。保有数は、3台に加えて故障時バックアップを5台、待機除外時バックアップとして1台の合計9台保管する。

2. 4 環境条件等

第1貯水槽及び第2貯水槽は、地震に対して耐震重要度分類に応じた耐震設計を考慮するとともに、常設耐震重要重大事故等対処設備として、地震起因重大事故時機能維持設計とする。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、津波の影響を受けない敷地に設置する。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に設置する。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、落雷に対して避雷設備で防護される建物に設置する。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に設置する。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、森林火災に対して防火帯の内側に配備する。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保する。

軽油貯蔵タンクは、地震に対して耐震重要度分類に応じた耐震設計を考慮するとともに、常設耐震重要重大事故等対処設備として、地震起因重大事故時機能維持設計とする。

軽油貯蔵タンクは、津波の影響を受けない敷地に設置する。

軽油貯蔵タンクは、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に設置する。

軽油貯蔵タンクは、地滑りによる影響を及ぼさない場所に設置する。

軽油貯蔵タンクは、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保する。

大型移送ポンプ車は、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

大型移送ポンプ車は、津波の影響を受けない敷地に保管する。

大型移送ポンプ車は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

大型移送ポンプ車は、屋外で使用するため、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

大型移送ポンプ車は、避雷設備で防護される建物に保管する。

大型移送ポンプ車は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

大型移送ポンプ車は、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。また、防火帯の外側で使用することもあることから、森林火災に対して消火活動を行う。

大型移送ポンプ車は、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

大型移送ポンプ車は、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

大型移送ポンプ車は、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する。

大型移送ポンプ車は、水中ポンプの取水口における魚類、底生生物、水生植物の付着又は侵入を防止するためメッシュ構造とする。

大型移送ポンプ車を保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

大型移送ポンプ車は、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

可搬型放水砲は、津波の影響を受けない敷地に保管する。

可搬型放水砲は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

可搬型放水砲は、屋外で使用することから、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

可搬型放水砲は、避雷設備で防護される建物に保管する。

可搬型放水砲は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

可搬型放水砲は、森林火災に対して防火帯の内側に配備する。

可搬型放水砲は、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

可搬型放水砲は、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

可搬型放水砲は、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する。

可搬型放水砲を保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

可搬型放水砲は、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

ホース展張車は、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

ホース展張車は、津波の影響を受けない敷地に保管する。

ホース展張車は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

ホース展張車は、屋外で使用することから、降水に対して屋外の

仕様を考慮する。

ホース展張車は、避雷設備で防護される建物に保管する。

ホース展張車は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

ホース展張車は、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。

ホース展張車は、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

ホース展張車は、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

ホース展張車は、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する

ホース展張車を保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

ホース展張車は、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

運搬車は、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

運搬車は、津波の影響を受けない敷地に保管する。

運搬車は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

運搬車は、屋外で使用することから、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

運搬車は、避雷設備で防護される建物に保管する。

運搬車は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

運搬車は、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。

運搬車は、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

運搬車は、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

運搬車は、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する

運搬車を保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

運搬車は、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

可搬型建屋外ホースは、津波の影響を受けない敷地に保管する。

可搬型建屋外ホースは、屋外で使用することから、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

可搬型建屋外ホースは、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

可搬型建屋外ホースは、森林火災に対して防火帯の内側に配備する。また、防火帯の外側で使用することもあることから、森林火災に対して消火活動を行う。

可搬型建屋外ホースは、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

可搬型建屋外ホースは、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

可搬型建屋外ホースは、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する。

可搬型建屋外ホースを保管する外部保管コンテナ及びホースコンテナは生物の進入防止又は抑制する設計とする。

可搬型建屋外ホースは、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

可搬型建屋外ホースは、内包する水の圧力に耐えられる設計とする。

軽油用タンクローリは、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

軽油用タンクローリは、津波の影響を受けない敷地に保管する。

軽油用タンクローリは、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

軽油用タンクローリは、屋外で使用することから、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

軽油用タンクローリは、避雷設備で防護される建物に保管する。

軽油用タンクローリは、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

軽油用タンクローリは、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。

軽油用タンクローリは、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

軽油用タンクローリは、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

軽油用タンクローリは、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する

軽油用タンクローリを保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

軽油用タンクローリは、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、津波の影響を受けない敷地に保管する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、森林火災に対して防火帯の内側に配備する。また、防火帯の外側で使用することから、森林火災に対して消火活動を行う。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスを保管するホースコンテナは生物の進入防止又は抑制する設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

小型船舶は、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

小型船舶は、津波の影響を受けない敷地に保管する。

小型船舶は、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

小型船舶は、屋外で使用するため、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

小型船舶は、避雷設備で防護される建物に保管する。

小型船舶は、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

小型船舶は、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。また、防火帯の外側で使用することから、森林火災に対して消火活動を行う。

小型船舶を保管する第1保管庫・貯水所，第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

小型船舶は，故意による大型航空機の衝突を考慮して，重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，加振試験により機能を確認した上で，固縛等の措置を講じて保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，津波の影響を受けない敷地に保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，屋外で使用することから，降水に対して屋外の仕様を考慮する。

中型移送ポンプ運搬車は，避雷設備で防護される建物に保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，森林火災に対して防火帯の内側に保管する。

中型移送ポンプ運搬車は，屋外で使用することから，凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

中型移送ポンプ運搬車は，屋外で使用することから，必要に応じて除灰する。

中型移送ポンプ運搬車は，屋外で使用することから，必要に応じて除雪する

中型移送ポンプ運搬車を保管する第1保管庫・貯水所，第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

中型移送ポンプ運搬車は，故意による大型航空機の衝突を考慮し

て、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

ホイールローダは、加振試験により機能を確認した上で、固縛等の措置を講じて保管する。

ホイールローダは、津波の影響を受けない敷地に保管する。

ホイールローダは、竜巻の影響を考慮して頑健な建物内に保管する。

ホイールローダは、屋外で使用することから、降水に対して屋外の仕様を考慮する。

ホイールローダは、避雷設備で防護される建物に保管する。

ホイールローダは、地滑りによる影響を及ぼさない場所に保管する。

ホイールローダは、森林火災に対して防火帯の内側に保管する。

ホイールローダは、屋外で使用することから、凍結に対して屋外の仕様を考慮する。

ホイールローダは、屋外で使用することから、必要に応じて除灰する。

ホイールローダは、屋外で使用することから、必要に応じて除雪する

ホイールローダを保管する第1保管庫・貯水所、第2保管庫・貯水所及び簡易倉庫は生物の進入防止又は抑制する設計とする。

ホイールローダは、故意による大型航空機の衝突を考慮して、重大事故等の発生が想定される建物から離隔距離を確保して保管する。

2. 5 操作性の確保

第1貯水槽は、取水作業を行うために必要な操作空間を確保する。

第1貯水槽は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

第2貯水槽は、取水作業を行うために必要な操作空間を確保する。

第2貯水槽は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

軽油貯蔵タンクは、作業を行うために必要な操作空間を確保する。

軽油貯蔵タンクは、現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

軽油貯蔵タンクで使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

軽油貯蔵タンクは、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

大型移送ポンプ車は、現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

大型移送ポンプ車で使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

大型移送ポンプ車は、運搬・設置が確実にできるよう、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

大型移送ポンプ車の操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

大型移送ポンプ車の現場での接続操作は、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。

大型移送ポンプ車は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

大型移送ポンプ車は、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

可搬型放水砲は、現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

可搬型放水砲で使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

可搬型放水砲は、運搬・設置が確実にできるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

可搬型放水砲の現場での接続操作は、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。

可搬型放水砲は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

ホース展張車は、運搬・設置が確実にできるよう、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

ホース展張車の操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

ホース展張車は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

ホース展張車は、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

運搬車は、運搬・設置が確実にできるよう、移動ができるととも

に、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

運搬車の操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

運搬車は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

運搬車は、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

可搬型建屋外ホースは、現場操作において工具を必要とする場合は、専用工具及び一般工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

可搬型建屋外ホースで使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

可搬型建屋外ホースの現場において人力で操作を行う弁は、手動操作が可能な設計とする。

可搬型建屋外ホースは、運搬・敷設が確実にできるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができる設計とする。

可搬型建屋外ホースの現場での接続操作は、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。

可搬型建屋外ホースは、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

軽油用タンクローリは、現場操作において工具を必要とする場合は、専用工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

軽油用タンクローリで使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

軽油用タンクローリは、運搬・設置が確実にできるよう、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

軽油用タンクローリの操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

軽油用タンクローリは、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

軽油用タンクローリは、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスで使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、運搬・敷設が確実にできるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

小型船舶は、現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。

小型船舶で使用する工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。

小型船舶は、運搬・敷設が確実にできるよう、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等

が可能な設計とする。

小型船舶の操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

小型船舶の現場での接続操作は、より簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。

小型船舶は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

小型船舶は、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

中型移送ポンプ運搬車は、運搬・設置が確実にできるような移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

中型移送ポンプ運搬車の操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

中型移送ポンプ運搬車は、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

中型移送ポンプ運搬車は、想定される重大事故等において作動状態の確認が可能な設計とする。

ホイールローダは、運搬・設置が確実にできるような移動ができるとともに、必要により設置場所にて固定等が可能な設計とする。

ホイールローダの操作スイッチは、実施組織要員等の操作性を考慮した設計とする。

ホイールローダは、現場操作における誤操作防止のために重大事故等対処設備識別表示を設置する。

ホイールローダは、想定される重大事故等において作動状態の

確認が可能な設計とする。

3. 主要設備及び仕様

工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための主要設備及び仕様を表 1 に示す。

表1 工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための主要設備
及び仕様

(1) 放水設備

a. 常設重大事故等対処設備

(a) 第1貯水槽（重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備と共
用）

（MOX燃料加工施設と共用）

基 数 1基

容 量 約20,000m³/基

(b) 第2貯水槽（重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備と共
用）

（MOX燃料加工施設と共用）

基 数 1基

容 量 約20,000m³/基

(c) 軽油貯蔵タンク（電源設備の燃料補給設備と共用）

（MOX燃料加工施設と共用）

基 数 4基

容 量 約100m³/基

b. 可搬型重大事故等対処設備

(a) 大型移送ポンプ車（重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設
備と共用）

（MOX燃料加工施設と共用）

台 数 13台（うち7台は故障時バックアップ，1台
は待機除外時バックアップ）

容 量 約1,800m³/h/台（泡混合器搭載）

(b) 可搬型放水砲 (MOX燃料加工施設と共用)

台 数 6台 (うち3台は故障時バックアップ)

(c) ホース展張車 (重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

台 数 7台 (うち4台は故障時バックアップ, 1台は待機除外時バックアップ)

(d) 運搬車 (重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

台 数 9台 (うち5台は故障時バックアップ, 1台は待機除外時バックアップ)

(e) 可搬型建屋外ホース (重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

建屋外ホース

種 類 呼び径300, 50m/本

数 量 1,700本 (うち850本は故障時バックアップ)

建屋外ホース

種 類 呼称150, 20m/本

数 量 2,230本 (うち1,115本は故障時バックアップ)

建屋外ホース

種 類 呼称65, 20m/本

数 量 52本 (うち26本は故障時バックアップ)

接続金具

種 類 90度エルボ, 呼び径300A

数 量	376基 (うち188基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	90度エルボ, 呼び径150A
数 量	236基 (うち118基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	異径分岐, 呼び径300A×150A×2
数 量	8基 (うち4基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	二口分岐, 呼び径300A×300A×2
数 量	12基 (うち6基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	二口分岐, 呼び径150A×150A×2
数 量	62基 (うち31基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	五口分岐, 呼び径150A×65A×5
数 量	20基 (うち10基は故障時バックアップ)
接続金具	
種 類	異径分岐, 呼び径65A×40A
数 量	12基 (うち6基は故障時バックアップ)
流量調節弁	
種 類	呼び径300A
数 量	8基 (うち4基は故障時バックアップ)
流量調節弁	
種 類	呼び径150A
数 量	80基 (うち40基は故障時バックアップ)

(f) 軽油用タンク ローリ (電源設備の燃料補給設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

台 数 9台 (うち5台は故障時バックアップ, 1台は
待機除外時バックアップ)

容 量 約4,000L/台

(2) 抑制設備

a. 常設重大事故等対処設備

(a) 軽油貯蔵タンク (電源設備の燃料補給設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

基 数 4基

容 量 約100m³/基

b. 可搬型重大事故等対処設備

(a) 可搬型汚濁水拡散防止フェンス (MOX燃料加工施設と共用)

寸 法 20m×4m/枚

数 量 80枚 (うち40枚は故障時バックアップ)

(b) 小型船舶 (MOX燃料加工施設と共用)

数 量 5艘 (うち3艘は故障時バックアップ, 1艘は
待機除外時バックアップ)

(c) 中型移送ポンプ運搬車 (重大事故等への対処に必要な水の供給
設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

台 数 7台 (うち4台は故障時バックアップ, 1台は
待機除外時バックアップ)

(d) ホイールローダ (重大事故等対処設備と共用)

(MOX燃料加工施設と共用)

台 数 9台（うち5台は故障時バックアップ，1台は
待機除外時バックアップ）

4. 試験検査

第1貯水槽及び第2貯水槽は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と独立して設置することで、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）の運転中及び停止中共に検査ができる設計とする。

第1貯水槽及び第2貯水槽は、対処に必要な水量を確保した水位を定期的に確認する。

軽油貯蔵タンクは、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）と独立して設置することで、その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備のプール水浄化・冷却設備のプール水冷却系及びその他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）の運転中及び停止中共に検査ができる設計とする。

大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

大型移送ポンプ車は、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

大型移送ポンプ車は、動作することを定期的に確認する。

可搬型放水砲は、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

可搬型放水砲は、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

ホース展張車は、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

ホース展張車は、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

ホース展張車は、動作することを定期的に確認する。

運搬車は、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

運搬車は、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

運搬車は、動作することを定期的に確認する。

可搬型建屋外ホースは、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

可搬型建屋外ホースは、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

軽油用タンクローリは、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

軽油用タンクローリは、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

軽油用タンクローリは、動作することを定期的に確認する。

可搬型汚濁水拡散防止フェンスは、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

小型船舶は、重大事故等への対処に備え、操作ができることを定期的に確認する。

小型船舶は、保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

小型船舶は，動作することを定期的に確認する

中型移送ポンプ運搬車は，重大事故等への対処に備え，操作ができることを定期的に確認する。

中型移送ポンプ運搬車は，保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

中型移送ポンプ運搬車は，動作することを定期的に確認する。

ホイールローダは，重大事故等への対処に備え，操作ができることを定期的に確認する。

ホイールローダは，保管数量及び保管状態を定期的に確認する。

ホイールローダは，動作することを定期的に確認する。

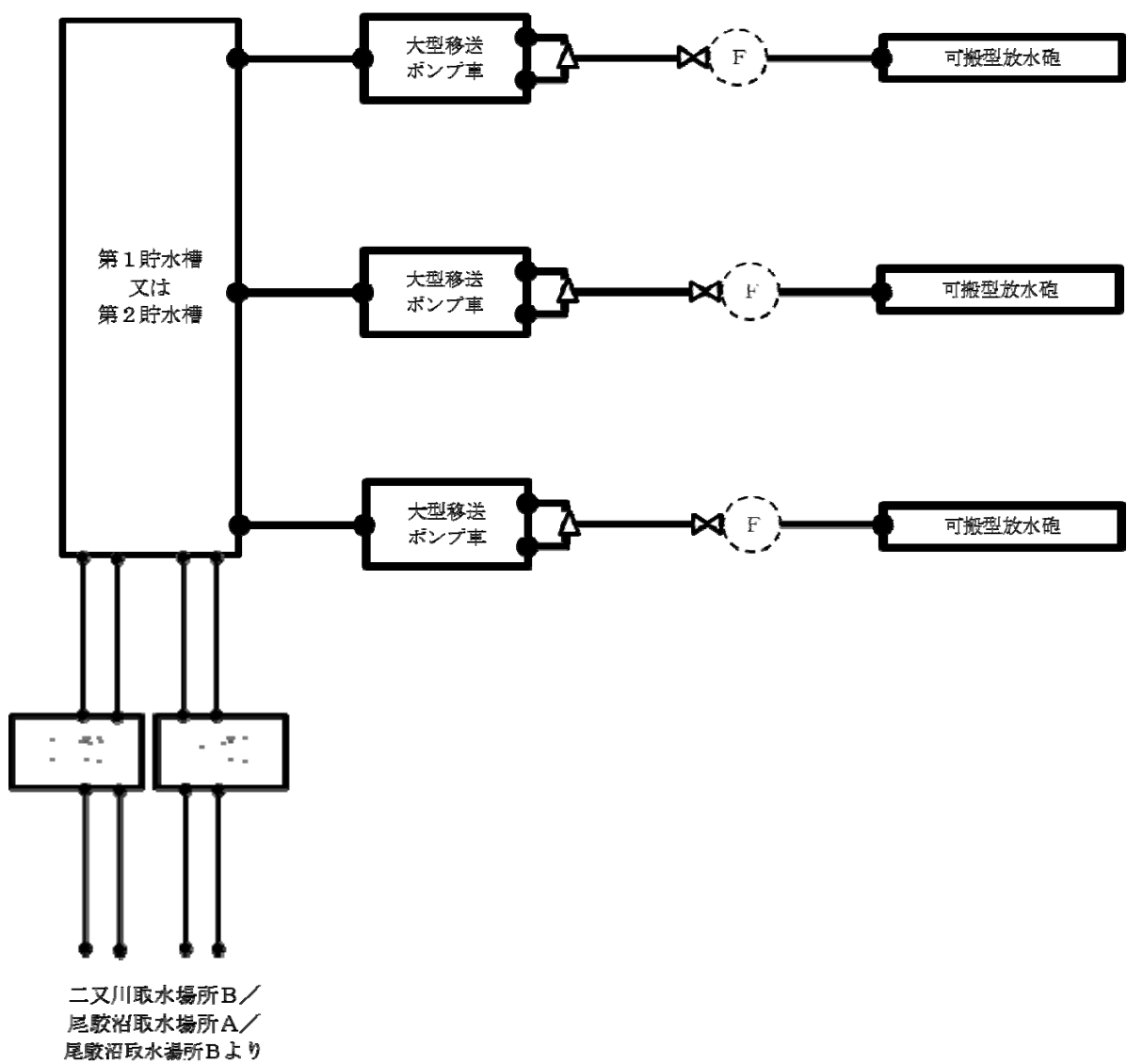


図1 各建屋から大気中へ放射性物質等の放出抑制に用いる設備の系統概要図

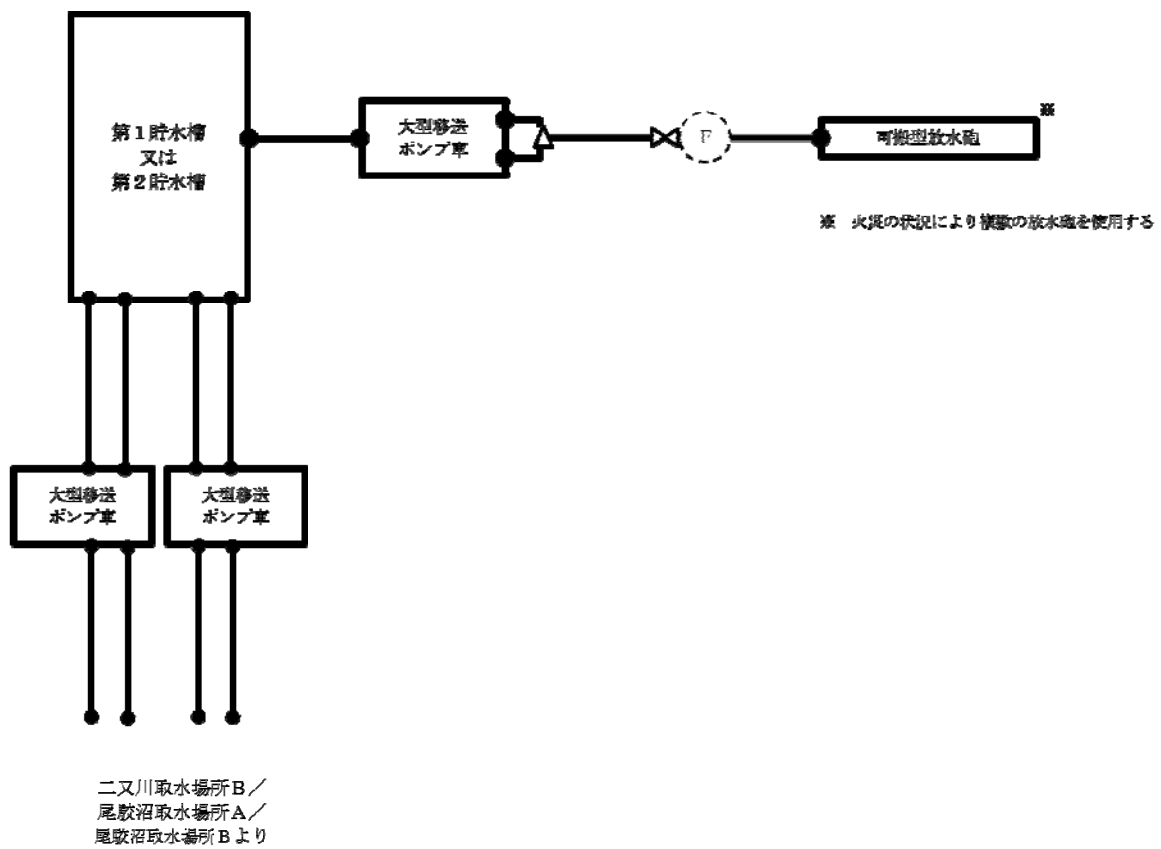


図2 航空機燃料火災及び化学火災への泡消火の系統概要図